

2023\_1112「飛び立つ直前のムササビ（写真）」日々の理科 3384号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

山荘の裏庭の「フクロウ用の巣箱」に、朝から夕方まで入り込んで、毎日 12 時間爆睡しているオスのムササビは、毎夕 17 時 15 分前後に巣箱から飛び立ちます。飛び立つといっても、殻らず数メートル先の決まったカラマツの幹に着地（着樹）して、そのままスルスルと幹を登っていくのです。

ムササビの様子はネットワークカメラで、「巣箱内」「巣箱口」の観察をしているので、巣箱から飛び立つ様子は何度も見えています。しかしとなりの幹に飛びつく様子は、肉眼では何度も見ているのですが、写真撮影には成功していません。

明るいうちにカメラをセットして、フォーカスも合わせ、台所の窓から巣箱ととなりの木の幹を狙っていましたが、しかしカメラの設定をしている一瞬に飛んでしまいました。この写真はまさに飛ぶ数秒前のムササビの様子です。

(2023 年 11 月中旬／北軽井沢)

